

2021年度定時総会 開催

6月3日(木)、**2021年度定時総会**を開催しました。今回、会議規模を大幅に縮小した開催となりましたが、WEB会議システムを活用し、総勢44名の方にリモートにてご出席いただき、同時のLIVE配信では多くの会員の皆様にご視聴いただきました。全議案が原案どおり承認可決され、引き続き最重点課題を含めた5つの重点課題や研究課題について調査・研究および提言を進めていくことが決議されました。また、**政策実現のために地域生団連の全国展開を推進していくほか、生団連としてコロナにおける生活困窮者への支援を検討していくことが確認されました。**



【主な議論内容】

■ 地域生団連の全国展開について ～地域生団連 基本指針～

「国民的課題を地域で議論する場」の創出を目指し、地域生団連を全国展開を推進していく。

■ 新型コロナウイルス感染拡大防止と医療提供体制の改善～緊急事態下の法制度とオペレーションの見直し～

新型コロナ感染症に関するファクト調査を行い、**実効性のある対策について提言**していくとともに、引き続き国の司令塔機能の必要性について訴えていく。

■ 「国家財政の見える化」の実現に向けて

コロナ禍でダメージを受けた国民に向けた**追加の財政政策の必要性**について議論していく。

■ 「生活者としての外国人」の受入れ体制の構築に向けて

教育・就労・基本指針採択の三本柱で取り組みを続けていく。また、日本国際交流センターと共催の勉強会開催を計画している。

■ 「エネルギー・原発問題」の国民的議論に向けて

第6次エネルギー基本計画について、公開され次第内容の納得性・具体性を検証をしていく。

■ 「災害支援スキーム」での実効性のある支援実現に向けて

新たな課題として、「**生団連災害支援スキーム**」を活用した生活困窮者への支援を検討していく。

ジェンダー主流化委員会 第1回キックオフ勉強会 開催

5月20日(火)、ジェンダー主流化委員会 第1回キックオフ勉強会をWeb会議システムを活用し開催しました。元国連職員であり、内閣府の男女共同参画会議のメンバーでもある大崎麻子氏にご講演いただきました。

「ジェンダー問題が企業経営に与える影響」をテーマに、ジェンダー問題とSDG s の関係性や、ジェンダーに関する世界的潮流など、国際経験な豊富な大崎氏による視座の高いお話を伺うことができました。

また、世界経済フォーラム (WEF) が公表している各国の男女格差を示すジェンダー・ギャップ指数において、日本は153か国中121位で、特に「経済」「政治」分野の格差が大きく、OECD諸国の中でも最下位に位置しています。大崎氏は、こうしたジェンダー・ギャップの要因として、男女についての固定的観念であるジェンダー・バイアス、さらにはその観念を築き上げてきた社会制度・教育に問題があると言及しています。

今後もジェンダーに関する勉強会を継続して実施する予定です。奮ってご参加ください。



▲ Gender Action Platform理事
大崎麻子氏



▲ 堺市消費生活協議会
山口会長

黒木登志夫氏による新型コロナ勉強会 開催



▲ 日本学術振興会 東京大学名誉教授 (医科学研究所)
岐阜大学名誉教授 (学長) 黒木登志夫氏

5月31日(月)、東京大学名誉教授 (医科学研究所) の黒木登志夫氏を講師としてお招きし、新型コロナに関する勉強会を開催しました。『**新型コロナの科学 パンデミック、そして共生の未来へ**』と題し、科学的な見地から、ウイルスの特性や感染の現況、ワクチン等について幅広くお話しいただきました。

生団連は昨年度より、新型コロナ対策に関する課題を最重点課題として位置づけ、調査研究、提言活動を行っています。今年度は、「感染拡大防止」および「医療提供体制の改善」にフォーカスし、有識者との勉強会も随時開催する計画です。

【参加者の主なご意見】

- PCR検査の遅れと保険行政との関連、ファクター-X、ワクチン接種の方法論など、知りたい内容が理解できた。
- 科学的知見から根拠のある仮説、見解を説明して下さり、コロナに関する理解が深まった。

【お問合せ先】

国民生活産業・消費者団体連合会(生団連) 小坂 ☎ : 03-6833-0493 ✉ : jim@seidanren.jp
〒108-0075 東京都港区港南2-18-1 JR品川イーストビル8階 URL : <https://www.seidanren.jp/>